

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ 「喫煙防止教育」
- 2 対象 1年次
- 3 専門医 川合 厚子 医師
(社会医療法人公徳会
トータルヘルスケアクリニック)
- 4 実施月 7月
- 5 内容(キーワード)
タバコの真実
タバコとがんとの関係
命や生き方の選択・行動
禁煙サポーター



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

- *有害性について具体的に理解でき、正しい知識が必要だと学習した。
- *タバコは人生の選択で命の問題なのだというを実感した。
- *自分や家族の問題として捉え、家族に提言しようという行動化が図られた。

②保健教育における校内連携について

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

- *年次、生徒保健課と連携し実施。
- *生徒保健委員が運営を行う本校の継続事業として認知されている。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

- *喫煙防止教育を継続してきた実績から実情に合わせた講演で教育効果が大きい。
- *町と協力して公共機関の禁煙マップ制作を継続している。

〔受講者の感想など〕

- 私の家族には喫煙者がいるので「禁煙外来があり治る可能性が高い」という情報はとても役に立ちました。家族に話したいと思います。
- タバコは『毒の缶詰』『死向品』という表現がぴったりでゾッとしました。
- 自分は吸わないようにしたいしタバコを吸い始めようとしている人を止めたい。

〔教科やその他の指導との関連性〕

- 教科保健 1年次「健康の保持増進と疾病予防」
- 薬物乱用防止教室

